

中野二丁目千光前通りの まちづくりを着実に進めよ

都民ファーストの会中野区議団 内野 大二郎



現在行われている中野二丁目再開発事業が中野駅南口のブランド力を高めるであろうことから、千光前通りもある程度のブランド力を持たせることが理想である。区はどのように関与し、まちづくりの検討を進めていくのか。

区長 これまで地域とまちづくりに関する情報共有を図ってきたおり、今後も情報共有、意見交換を重ねながら区として千光前通り周辺を含んだまちづくりの在り方を取りまとめ、まちのあるべき姿等の具体化を図っていきたい。

漢字検定の補助を実施せよ
英語教育の一層の充実を図るため、英語検定の検定料の補助を行う予定であるが、日本語の知識を習得するための漢字検定も高校進学の内申書に記載することができると、英語検定同様に、検定料の補助をするべきではないか。

区長 今後の動向や状況を見ながら研究していく。

子育て先進区の 客観的指標を問う

育児支援と防災緑地と平らな歩道の中野を創る会 吉田 康一郎



合計特殊出生率の目標値を設定すべきでは。基本計画策定の過程で適切な目標設定を検討していく。

区長 区有地の活用に当たっては、資産の有効活用を図るための内容精査や具体的方策の検討が必要だと考えるが、用途地域などの条件が異なることから、一律に活用や処分については難しい。

漢字検定の補助を実施せよ
英語教育の一層の充実を図るため、英語検定の検定料の補助を行う予定であるが、日本語の知識を習得するための漢字検定も高校進学の内申書に記載することができると、英語検定同様に、検定料の補助をするべきではないか。

区長 今後の動向や状況を見ながら研究していく。

マンション再生まちづくり 計画を問う

自由民主党議員団 二ついで 良輔



①中野四丁目地区では、マンション再生まちづくり計画を策定することだが、他地区でも、同計画の指定要件を満たす地区がある。都市計画マスタープランなど同計画を位置付けていくべきでは。②環状6号線内側の東中野駅周辺などは、センターコア構想に位置付けられ、高いポテンシャルを有する。こうしたエリアでも諸制度を活用し、ポテンシャルを生かした都市政策を、防災まちづくりと合わせて進めるべきでは。

生活道路を中心に無電柱化を推進せよ
①区は、無電柱化率3.2%を目指すとのことだが、具体的にどのように進めるのか。②防災力向上に資する生活道路の無電柱化を積極的に推進

区長 ①都市計画マスタープランなどに、一定の方針を示していく。②東京都が上位計画の中で都市開発に関する支援制度等を示したことから、これを踏まえた取り組みを進めていく。

命を守るための子育て支援を

立憲民主党・無所属議員団 河合 りな



年末に他区で新生児を放置し死なせてしまった痛ましい事件は記憶にも新しい。行政が制度を用意しても、必要とする人の手に届かなくては意味がない。問題が深刻化する前に、誰もが気軽に手助けを得られる環境が必要と考える。

ひとり親家庭の支援拡充を
都では養育費確保支援事業を始めるが、区も導入すべきである。しっかりとした相談体制があることを示し、一層の拡充を検討しては。

区長 相談体制の周知を図るとともに、養育費に関わることも含め、よりきめ細かい支援の拡充を検討したい。

保育の質を充実せよ
子どもの命を預かり、育ち

①在宅育児家庭へ支援の手を広げ、孤立を防ぐ取り組みを進めるべきでは。②都補助を導入し、更に使いやすい多胎児育児の移動支援拡充に取り組んで。③多胎児の会の回数や人数等を拡充しては。

すべきではないか。

区長 ①中野区無電柱化推進計画の優先整備路線に基づき進めていく。②歩道の無い道路も含め目標達成に向け展開していく。

学校におけるICT環境を充実させよ
①国は令和5年度まで1人1台の端末整備を目標としているが、この方針を踏まえ計画的に整備をしていく考えか。②ICTを活かした学びや教員への支援が十分になされる体制となっているのか。

教育長 ①中野区教育情報化推進計画を策定し、計画的に進める。②令和2年度に、教育情報化専門員を配置する。

共生社会を実現せよ
どんな方も、望むように生きる権利がある。自らの意思で決められるよう行政は整備する必要がある。環境がそれを許さないことは、権利を奪っていることと同様である。①障がいのあるを超えた関係づくりの機会を区でも持つべきでは。②障がい児の一時保護を拡充すべきでは。③特別支援教育支援員の拡充をすぐにも行うべきでは。

区長 ①興味や関心がない方も参加するような取り組みを検討する。②実施できる方策を研究していきたい。

教育長 ③他区の取り組みを参考にしながら研究する。

区長 人件費率が低く、改善不十分な事業者に対しては、処遇改善計画書の提出を求め進捗管理を徹底していく。

沼袋駅周辺まちづくりを問う

公明党議員団 南 かつひい



①区画街路第4号線の整備にあたり、拡幅された道路の全体像を示すことで、地権者も安心感が持て、用地の取得交渉も進むのではないかと考える。「道路基本構造」の警察との協議は現在、どの程度進んでいるのか。②用地の取得交渉を加速させるためにも、相談窓口の設置は欠かせない。地権者個々の相談内容に応じ、弁護士や司法書士、ファイナンシャルプランナーなどの専門家に繋げる相談体制が必要と考えるが、区の見解は。③用地取得交渉の体制強化が必要であり、まちづくり部署の充実・強化が求められる。令和2年度の区の執行体制は。

区長 ①警察との協議は昨年10月末の現地実査を踏まえ、各交差点の検証作業などを行っている。②令和2年度から、現地に相談窓口を開設し、生活再建相談を通じて早期移転に繋げる。③組織改正により、用地測量から建物等調査、用地取得交渉、契約へと一連の作業を担える組織に

を支える保育士を大事にせず、安心できる保育が成り立つのかと考える。補助金が保育士の待遇改善につながるよう踏み込んだ政策が必要では。

区長 人件費率が低く、改善不十分な事業者に対しては、処遇改善計画書の提出を求め進捗管理を徹底していく。

な制度設計を行う。②認知症施策全体の検討を進める中で、工夫と改善を図る。

日常生活用具給付等事業の充実を
網膜色素変性症の方々にとって欠かすことのできない暗所視支援眼鏡を日常生活用具給付事業の対象品目に加えるべきと考えるがいかがか。

区長 他自治体の給付状況も参考とし、対象品目とするなども検討したい。



中野駅周辺整備・都市観光調査特別委員会

12月12日(木)から13日(金)に、群馬県高崎市の「高崎アリーナ及び高崎芸術劇場」について、群馬県みなかみ町の「みなかみ町の観光施策」について視察を行いました。写真は、高崎市での様子です。